



2023年8月14日

各 位

会 社 名 株式会社ファンペップ
代表者名 代表取締役社長 三好 稔美
(コード番号：4881 東証グロース)
問合せ先 取締役管理部長兼 CFO 林 毅俊
(TEL. 03-5315-4200)

資金使途及び支出予定時期の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2021年11月26日付「上場調達資金の充当予定時期等変更に関するお知らせ」及び2021年11月26日付「第9回新株予約権（行使価額修正条項付）の第三者割当てによる発行に関するお知らせ」に記載した上場調達資金及び第9回新株予約権による調達資金について、資金使途及び支出予定時期の変更を決議致しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社グループは、2020年12月に株式上場してから、上場調達資金及び第9回新株予約権による調達資金を活用して、医薬品の研究開発を進めてまいりました。

主な資金充当先プロジェクトの機能性ペプチドSR-0379の皮膚潰瘍患者を対象とする第Ⅲ相臨床試験（日本）、抗体誘導ペプチドFPP003の尋常性乾癬患者を対象とする第Ⅰ/Ⅱa相臨床試験（オーストラリア）は完了し、さらに花粉症に対する抗体誘導ペプチドのプログラムはバックアップ化合物の探索研究によりFPP004に替わり新規開発化合物FPP004Xの開発を開始致しました。その一方で、本年からの臨床試験開始を目指して前臨床試験を進めてきた抗体誘導ペプチドFPP005については、開発品プロファイルのさらなる向上を目指した新規製剤技術の研究を優先して進めることに致しました。

以上の研究開発の進捗状況を踏まえ、上場調達資金及び第9回新株予約権による調達資金の資金使途及び支出予定時期を変更致しました。

2. 変更の内容

変更の内容は、以下の通りです。

各資金使途には、上場調達資金及び第9回新株予約権による調達資金を充当しているため、ここでは両資金の調達資金総額の変更前後の資金使途及び支出予定時期について説明致します。

具体的な上場調達資金及び第9回新株予約権の変更前後の資金使途及び支出予定時期は、P 4～5の表に記載しております。

(1) 機能性ペプチドSR-0379

皮膚潰瘍患者を対象とする第Ⅲ相臨床試験費用に調達資金総額の760百万円を2021年12月期から2023年6月末までに充当致しました。

変更前の支出予定額856百万円に対する残額96百万円は、当社の安定的な研究開発活動の継続及び推進に必要な事業運営資金（以下、「その他事業運営費」という）に充当致しました。

(2) 抗体誘導ペプチドFPP003

尋常性乾癬患者を対象とする第Ⅰ/Ⅱa相臨床試験費用及び強直性脊椎炎を対象とする開発費に調達資金総額の378百万円を2021年12月期から2023年12月期までに充当する予定となりました（2023年6月末までに359百万円を充当済）。

変更前の調達資金総額の支出予定額522百万円に対する残額143百万円は、事業運営費の一部（研究費及び人件費）に充当し、2024年12月期までに支出予定です。

(3) 抗体誘導ペプチドFPP004X

FPP004Xは、花粉症に対する抗体誘導ペプチドのプログラムにおけるFPP004に替わる新規開発化合物として2023年6月から前臨床試験を開始致しました。

FPP004Xの開発費には、調達資金総額の411百万円を2023年12月期から2024年12月期までに充当する予定です。

変更前の調達資金総額の支出予定額176百万円からの増加分235百万円は、FPP005への支出予定金額から資金使途を変更して充当する予定です。

(4) 抗体誘導ペプチドFPP005

FPP005は、本年からの臨床試験開始を目指して前臨床試験を進めてきましたが、開発品プロファイルのさらなる向上を目指した新規製剤技術の研究を優先して進めることとなり、今後のFPP005の開発費は減少する見込みとなりました。

FPP005の開発費には、調達資金総額の249百万円を2021年12月期から2024年12月期までに充当する予定です（2023年6月末までに244百万円を充当済）。

変更前の調達資金総額の支出予定額495百万円に対する減額分246百万円は、主にFPP004Xの開発費へ資金使途を変更して充当する予定です。

(5) 抗体誘導ペプチド 新規製剤技術

当社は、抗体誘導ペプチドの効果を最適に発揮させるための新規製剤技術の研究開発を進めております。新規製剤技術の開発費は、免疫反応増強作用を持つアジュバント製剤技術の研究開発として、調達資金総額の39百万円を2021年12月期から2023年6月末までに充当致しました。

なお、新規開発品の探索研究においては候補化合物と製剤技術の組み合わせにより検討を進めていることから、新規製剤技術の開発費は、探索研究中のテーマの研究費である「(6)研究費」にあわせて集計することに致しました。

変更前の上場調達資金の支出予定額105百万円に対する減額分65百万円についても、2023年6月末までに研究費の一部として充当致しました。

(6) 研究費

探索研究中のテーマに対する研究費は、調達資金総額の360百万円を2021年12月期から2024年12月期までに充当する予定です（2023年6月末までに244百万円を充当済）。

変更前の調達資金総額の支出予定額239百万円に対する増額分120百万円は、主にFPP003開発費への支出予定金額から資金使途を変更して充当する予定です。

(7) 人件費

研究開発を実施するための人件費は、調達資金総額の382百万円を2021年12月期から2024年12月期までに充当する予定です（2023年6月末までに233百万円を充当済）。

変更前の調達資金総額の支出予定額268百万円に対する増額分114百万円は、主にFPP003開発費への支出予定金額から資金使途を変更して充当する予定です。

(8) その他事業運営費

上記の(1)～(7)を除く事業運営費は、調達資金総額の541百万円を2022年12月期から2024年12月期までに充当する予定です(2023年6月末までに263百万円を充当済)。

変更前の調達資金総額の支出予定額460百万円に対する増加分81百万円は、SR-0379開発費への支出予定金額から資金用途を変更して充当する予定です。

3. 今後の見通し

本件が当社グループの業績に与える影響はありません。

上場調達資金
(変更前)

	具体的な用途		金額 (千円)	支出予定時期
①	機能性ペプチド SR-0379	皮膚潰瘍を対象とする臨床試験費用等の開発費	856,077	2021年12月期～2022年12月期
②	抗体誘導ペプチド FPP003	尋常性乾癬及び強直性脊椎炎を対象とする臨床試験費用等の開発費	361,889	2021年12月期～2022年12月期
③	抗体誘導ペプチド FPP004	花粉症を対象とする前臨床試験費用等の開発費	176,191	2023年12月期～2024年12月期
④	抗体誘導ペプチド FPP005	前臨床試験費用等の開発費	165,337	2021年12月期～2022年12月期
⑤	抗体誘導ペプチド 新規製剤技術	新規製剤技術の開発費	105,200	2021年12月期～2023年12月期
⑥	研究費	探索研究中のテーマに対する研究費	85,000	2021年12月期～2022年12月期
⑦	人件費	上記研究開発を実施するための人件費	106,084	2021年12月期～2022年12月期
	合計		1,855,778	

(変更後)

	具体的な用途		金額 ^(注) (千円)	支出予定時期
①	機能性ペプチド SR-0379	皮膚潰瘍を対象とする臨床試験費用等の開発費	<u>760,035</u> (760,035)	2021年12月期～ <u>2023年12月期</u>
②	抗体誘導ペプチド FPP003	尋常性乾癬及び強直性脊椎炎を対象とする臨床試験費用等の開発費	361,889 (359,571)	2021年12月期～ <u>2023年12月期</u>
③	抗体誘導ペプチド <u>FPP004X</u>	花粉症を対象とする前臨床試験費用等の開発費	176,191 (-)	2023年12月期～2024年12月期
④	抗体誘導ペプチド FPP005	前臨床試験費用等の開発費	165,337 (165,337)	2021年12月期～2022年12月期
⑤	抗体誘導ペプチド 新規製剤技術	新規製剤技術の開発費	<u>39,696</u> (39,696)	2021年12月期～2023年12月期
⑥	研究費	探索研究中のテーマに対する研究費	<u>150,504</u> (150,504)	2021年12月期～ <u>2023年12月期</u>
⑦	人件費	上記研究開発を実施するための人件費	106,084 (106,084)	2021年12月期～2022年12月期
⑧	<u>当社の安定的な研究開発活動の継続及び推進に必要な事業運営資金</u>	<u>上記の①～⑦を除く事業運営費</u>	<u>96,042</u> (96,042)	<u>2023年12月期</u>
	合計		1,855,778 (1,677,269)	

(注) 金額欄の括弧内は、2023年6月末までの支出金額を記載しております。

第9回新株予約権による調達資金
(変更前)

	具体的な用途	金額 (千円)	支出予定時期
①	抗体誘導ペプチドFPP003の開発費	160,880	2022年7月～2022年12月
②	抗体誘導ペプチドFPP005の開発費	330,505	2022年4月～2024年3月
③	研究費	154,377	2022年1月～2024年6月
④	人件費	162,598	2022年4月～2024年6月
⑤	当社の安定的な研究開発活動の継続及び推進に必要な事業運営資金	460,481	2022年1月～2023年9月
	合計	1,268,841	—

(変更後)

	具体的な用途	金額 ^{(注)2} (千円)	支出予定時期 ^{(注)1}
①	抗体誘導ペプチドFPP003の開発費	<u>17,040</u> (—)	<u>2023年12月期</u>
②	抗体誘導ペプチドFPP004Xの開発費	<u>235,234</u> (—)	<u>2024年12月期</u>
③	抗体誘導ペプチドFPP005の開発費	<u>84,288</u> (78,715)	<u>2022年12月期～2024年12月期</u>
④	研究費	<u>209,707</u> (93,849)	<u>2022年12月期～2024年12月期</u>
⑤	人件費	<u>276,809</u> (127,371)	<u>2022年12月期～2024年12月期</u>
⑥	当社の安定的な研究開発活動の継続及び推進に必要な事業運営資金	<u>445,764</u> (167,746)	<u>2022年12月期～2024年12月期</u>
	合計	1,268,841 (467,682)	—

- (注) 1. 前臨床試験や臨床試験等の開発又は探索研究中のテーマに対する研究は一般的に複数年度に渡って実施すること、また実施期間の不確実性が高いことから、重要性の観点から支出予定時期は、年度単位のレンジで表示しております。
2. 金額欄の括弧内は、2023年6月末までの支払金額を記載しております。

以上